

# 建築家による家づくりフォーラム

## ～ 建築家と共に創る家づくり ～

家づくりをするということは、敷地環境の歴史や文化、家族、暮らし方など、多くの事柄を共に考え、営む生活について、建築家との共有体験の中で創り出す、楽しい共同作業です。また良い施工業者を選択し、多くの技術者と共に創る喜びを体験する事が出来ます。良い家づくりのためには、建築家の職能とは何かを理解していただく事が欠かせません。建築家とは、本来、営利団体に属さない個人です。住宅の設計監理を依頼したい人とは、相等しい立場で考え、対話します。環境や社会状況、生活などに豊かな見識を持ち、創造作業ができる経験と能力を持った、自立した職能人です。自由で独立した人格を持つ建築家と、生活環境や家づくりについて、自由に語り合う機会が折々にあっても良いのではないのでしょうか。

家づくりフォーラムでは、建築家自身の手づくりで、建築展やシンポジウム、対話集会、家づくりのプロセスなどを、一般の人々に広く知っていただく機会を作りたいと思い、家づくりフォーラムを企画いたしました。日々の暮らしや、生活、家づくりを共に楽しみ、創る喜びを共有できる人々が多数参加されることを希望します。

### 建築家とは？

最近のTVや雑誌、新聞などで、随分と建築家を取り上げられ、その職能が市民に知られるようになりました。一方で、情報化社会において、誤ったイメージが流されているきらいがあります。一般に建築家は敷居が高いとか、とても設計料まで出して住宅を建てるなんて、という言葉聞くことがあります。建築家とは、建築に関する専門の知識を持ちながら、施主との話し合いや共同作業によって、**夢や希望を実現していく職業**だと言えます。もちろん社会的、経済的制約もある社会ですから、全てを実現するという事ではありません。例えて言えば、依頼者の最も大切な事は何かということを中心に考え、想像力を働かせて行く精神的な作業が設計という仕事だと思います。図面を描くということは、人に伝達する一つの手段です。

建築家も十人十色ですから、建築家の作った建物や雑誌等を見て、実物を訪れて見る事が一番です。建築家の事務所を思い切って訪ねてみて、基本的な価値観を共有できるか確認してみてください。建築家を訪ねる少しの勇気があれば、現実に既に在るものではなく、夢や希望に少しでも近づくことができるのですから。

### 建築家と共に創る家づくりって？

現代の社会において物質文化が過剰に溢れる情報社会の影響を受けて、物そのものに夢を託す傾向が多く見られます。

ここでちょっと立ち止まって考えてみてください。自分の家族と生活のあり方を！自分たちにとって何が本当に大切なことなのか。そのような疑問から、新しい生活上の夢や希望が生まれてくる事を！その人と家族にとって本当に大切なものは何なのかーそのような問いかけからイメージをふくらませて、住居というあり方を考え、オリジナルな形にすることが建築家と共に家づくりをする面白さだと思います。要望されたことを形にするだけなら、表現する技術があれば実現は容易にできます。まだ見えない存在を紡ぎだして、**オリジナルな生活のあり方を提案実現する**ことが、建築家にとっても喜びであり、建築家と施主が共に創る家づくりだと思います。

家づくりを通して現代の社会環境に新しい視点を発見してみませんか。

### 建築家に依頼するには？

自分の家をたてたいと思う人と建築家の出会いは、それほど多いとは思えません。世界的に見ても、住宅産業という社会分野が特殊に発達した日本では、建築家と共に創る家は数が多くありません。

建築家の側にも、自分の仕事を積極的に社会に知らせるメディアの媒体が限られたものになっているという状況があります。また、宣伝活動などすべきでないという潜在意識が、建築家の側にも働いていたという事実もあります。個人の社会的な財産としてだけでなく、優れた建築を一般社会に分かってもらいたいという意図から、建築家の仕事を社会にPRしなければならぬと思います。

建築家に依頼するには、**1本の電話をかけることから始まります**。直接建築家に出会って、自分の思いを伝え、基本的な価値観を共有することが出来るか確かめてから、家づくりを依頼するかどうか決めて下さい。もし相性が合わなければ、断れば済むことです。そんな簡単な作業で、自分の家づくりに託する夢や希望が実現できるなら早速やってみるべき価値は十分あると思います。建築家も誠実に答えてくれると思います。

### 設計・監理料って？

家づくりをする為には、幾つかのハードルがあります。土地探しや、資金や税金の問題、どのような家を建てるか、施工業者の選定などです。

このようなハードルの内で建築家が十分に開関することが出来るのは、資金や税金の問題を除いた事柄です。経験に基づくと、土地探しは施主と行うことがよくあります。家を建てるための法規上の制限や設備、地盤の調査など、設計前に調査する事柄が数多くあります。どのような家づくりをするかは、建築家の職能の本題であり十分な時間をかけて、互いが納得するまで話し合うことが大切です。

また、設計の内容に応じた施工業者を選定して、工事見積りを行い、適正価格かどうか建築家がチェックした上で施主と施工業者が工事契約を結び、建築家が技術的な工事監理を行います。

このようなプロセスの対価として建築家は、設計監理料金を申し受けます。建築家の経験やレベルによって、**通常工事予算の10%～15%が設計監理料金**です。

その他、建築確認申請等の申請業務は、別途となります。この設計監理業務によって、依頼主の夢や希望が実現し、安心して住み続けることの出来る家を実現できるのであれば、十分な価値があると思います。